

公益財団法人山口市文化振興財団

令和4年度 事業計画

令和4年3月

I 基本目標

山口市から管理運営を受託している山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の持つ特性を十分に生かしながら、さまざまな文化に触れる機会、参加する機会などを提供する企画事業を実施することで、山口市における文化振興の一翼として、文化を育むまちづくりに寄与するよう努めます。

II 基本方針

市民自らが多様な文化活動へ参加し、芸術文化を享受できる環境づくりを目指して、鑑賞型、参加型、さらには創造型の企画事業を展開するとともに、広く文化に関する情報を収集し、提供します。

また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を促進し、支援するための事業を行います。

なお、これらの事業を実施するにあたっては、年度単位での事業計画策定及び事業実施のみでなく、長期的な視点による事業計画や事業展開を行うとともに、事業内容の一層の充実に資する新たな発想による取り組みも推進します。

III 個別事業計画

定款第4条に掲げる6事業、「企画事業」、「育成・支援事業」、「調査研究事業」、「情報収集・提供」、「施設の管理運営受託事業」及び「その他法人の目的を達成するために必要な事業」について、以下のとおり実施します。

1 企画事業

当財団が山口市から管理運営を受託している山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の持つ特性を生かしながら、文化振興に関する様々な企画事業を実施することで、市民の皆様が幅広く芸術文化に触れる機会、参加する機会を創出します。

(1) 事務局

山口市市民会館や山口情報芸術センター等、市内の文化施設を活用して、広域的かつ幅広い年齢層を対象とした、演劇・ミュージカルなどの舞台芸術や、室内楽コンサートの公演を行います。

(2) 山口市市民会館

ジャズコンサートなどの質の高い音楽の鑑賞機会を提供するとともに、娯楽性の高い落語会などを開催します。

また、毎年恒例となった市民参加型のコンサートの開催など、市民に多様な芸術文化の鑑賞機会を提供します。

(3) 中原中也記念館

中原中也を軸として、その軌跡や親交のあった人物等を紹介するテーマ展示や企画展、特別企画展を実施するとともに、中也の人物像と作品を分かりやすく解説し、理解を深める一助として、講演会や読書会を開催します。

また、中也の生誕日には、詩の朗読を好んだ中也にならない、自作や愛読の詩を朗読する市民参加型イベント〈中原中也生誕祭〉を実施します。

(4) 山口情報芸術センター[YCAM]

新たな芸術表現を創造し、国内外へ発信していくこと、メディア・コミュニケーション技術や最新テクノロジーの社会応用を実験できる施設として存在すること、その成果を市民に質の高い文化芸術体験や教育的な価値として届けることを基本理念として、多彩な企画を実施するとともに、市民や地域コミュニティとの関りを意識した事業を進めます。

なお、令和4年度は、国内外のさまざまな専門家と行ってきた研究開発プロジェクト「鎖国[Walled Garden]プロジェクト」の成果となる展覧会や新作パフォーマンス作品の発表等を行うほか、山口市教育委員会との連携事業や、アートイベントに携わる人材を育成する「やまぐちアートコミュニケータープログラム」に引き続き取り組みます。

また、YCAMは令和5年度に開館20周年を迎えますが、20周年に向けて機運を高めるため令和5年度事業に関する調査やイベントを行うなど、多様な事業を展開します。

2 育成・支援事業

財団友の会会員へのサービス向上を図るとともに、組織の拡充に努めます。

また、市民が日常的に芸術文化に触れる機会、文化活動に取り組む機会の拡充を図るため、市民の自主的な文化活動に対し助成金を交付し、側面的に支援する事業を継続実施します。

(1) 友の会の拡充と運営

公益財団法人山口市文化振興財団友の会「Ars Nova Yamaguchi」(呼称:エニー)の会員について、既加入者の継続加入及び新規加入の促進を図ります。

なお、令和4年度は、3月5日から6月30日にかけて入会金無料を特典とする新規入会キャンペーンを実施します。

① 会員期間

入会日から翌年の入会月末まで

② 会費

・入会金(更新時には不要) 500円
・年会費 1,500円

③ 会員特典

・チケットの先行予約及び割引購入
・情報誌(4・7・10・1月発行)及び催物案内(毎月末)の定期送付
・入会時及び更新時にYCAMシネマ及び中原中也記念館の招待券進呈

④ 会員数の推移(件数)

※3月1日時点

種 別	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
個人会員	935	905	885	1,129	988	※1,016

(2) 市民文化活動支援事業助成金交付事業

営利を目的としない市内の個人及び団体等が行う文化事業を助成支援するため、平成9年度に創設した「公益財団法人山口市文化振興財団市民文化活動支援事業」を継続実施します。

市報への募集記事掲載や市内関係機関への資料配布等による広報を行い、より多くの市民の自主的かつ創造的な芸術文化活動を支援します。

① 募集期間

令和4年3月1日～3月31日

② 助成金額

一事業につき50万円を上限

③ 審査方法

審査委員会の設置、開催

④ 申請及び採択件数の推移

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
申請件数	12	17	14	20	9	11
採択件数	11	17	14	13	8	11

3 調査研究事業

(1) 中原中也研究

関係資料の調査、収集、修復、複製の製作等により、中原中也研究を推進します。

(2) 自主企画事業に関する調査及び研究

公演毎にアンケート調査を随時行い、企画事業に対する市民ニーズ等の調査研究を進めます。

また、事業成果のまとめとして、ドキュメント制作や展示・公演記録、ワークショップパッケージ等のパブリシティに関わる作業を行います。

4 情報収集・提供事業

(1) 情報誌「any」の刊行

平成9年1月から刊行している情報誌を年4回(季刊)、継続刊行します。

(2) 山口市民会館催し物案内の発行

市民会館における催し物を紹介案内する広報紙を月1回、継続発行します。

(3) 中原中也記念館 館報第28号の発行

活動記録、寄稿文等を掲載する館報を年1回、継続発行します。

(4) 機関紙「中原中也研究」第27号の刊行

研究論文、エッセイ、講演・シンポジウム記録等を掲載する機関誌を年1回、継続刊行します。

(5) 山口情報芸術センター催し物案内の発行

山口情報芸術センターにおける催し物を紹介案内する広報物を継続的に発行します。

(6) ホームページの充実

財団及び山口情報芸術センター、中原中也記念館、山口市民会館のホームページにより、イベント情報を随時発信します。

また、財団の主催・共催公演に関しては、財団及び山口情報芸術センターのホームページからでもチケット予約ができるほか、友の会への入会・更新もホームページ上から手続き可能となっています。

5 施設の管理運営受託事業

当財団が山口市から管理運営を受託している山口市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、お客様に「安全、安心、快適」に利用していただけるよう適切な業務を行います。

また、山口市民会館及び山口情報芸術センターにおいては、市の条例に基づいた施設の貸与事業を行い、利用者のニーズを踏まえた施設運営に努めます。

6 その他法人の目的を達成するために必要な事業

山口市が主催する、山口市出身の詩人中原中也の業績を顕彰するために創設された現代詩を対象とする文学賞、「中原中也賞」について、市からの委託によりその贈呈式の運営補助を行います。

第27回目となる今回の中原中也賞には、公募・推薦の詩集218点の中から國松絵梨の『たましいの移動』が選ばれ、中原中也の生誕日である4月29日に、賞の贈呈式と記念講演を開催します。

企画事業一覧

財団事務局

事業名	開催時期等	内容
日仏国際共同製作 新作舞台作品 東芋×ヨルグ・ミュラー「もつれる水滴」	5月14日(土)、15日(日) 場所:山口情報芸術センター	日本が誇る現代美術家・東芋(たばいも)と、現代サーカスパフォーマーのヨルグ・ミュラーによる新作映像舞台作品を、日仏、ならびに富山オーバードホールを中心に集まった国内の劇場4館の共同製作で発表。布と身体の動きと映像によってこれまでに見たことのない舞台表現を実現します。また、関連企画として、ヨルグ・ミュラーによる身体ワークショップや、公演終了後に実施するボックスツアーを実施します。
串田和美ひとり芝居 「月夜のファウスト」(野外劇)	5月20日(金) 場所:クリエイティブ・スペース赤れんが前 芝生	緊急事態宣言により多くの劇場が休館するなか、様々な制約の中で、舞台美術・照明・音響すべてをそぎ落として立ち上げられた、串田和美のライブワークともいべき「ファウスト」のひとり芝居バージョンです。 演劇の原点に回帰し、小さなステージで繰り広げる壮大なおはなしを、山口では野外で上演します。
to R mansion 「にんぎょひめ」	6月18日(土) 場所:山口情報芸術センター	照明の特殊な仕掛けにより暗闇のカーテンを舞台上に出現させる「テアトル・ノアール」を実現できる国内唯一のカンパニー「to R mansion」が、大胆にアレンジしたコメディタッチの「にんぎょひめ」を、光と闇が織りなす驚きに満ちた舞台空間で上演します。 0歳から鑑賞可。認定NPO法人こどもステーション山口との共催事業として実施します。 関連企画として、アウトリーチやワークショップも実施予定です。
ミュージカル「夜の女たち」	10月6日(木) 場所:山口市民会館	戦後間もない大阪を舞台に、戦争で夫を亡くし、敗戦後の生活苦から娼婦に墮していく女性をシビアに描いた溝口健二監督による映画「夜の女たち」をもとに、神奈川芸術劇場の芸術監督・長塚圭史がミュージカル作品を創作。作曲に荻野清子、構成台本・演出に長塚圭史を迎えて上演します。

事業名	開催時期等	内容
DYNAMIC ♪賢者の音 「辻本玲と仲間たち」(仮)	令和5年1月22日(日) 場所:山口市民会館	国内外で活躍中のもっとも旬な演奏家らによる、室内楽コンサートの新シリーズを始動します。 第一弾として、NHK交響楽団首席チェロ奏者の辻本玲を迎え、小編成のアンサンブルコンサートを行います。 なお、本事業は今後も継続して毎年実施していく予定です。
身体表現ワークショップ	開催時期未定 場所:未定	演劇・ダンス・音楽などのジャンルにおいて、プロとして活躍する表現者を招いて、ワークショップを行います。

山口市市民会館

事業名	開催時期等	内容
小曽根真 featuring No Name Horses ～THE BEST～	6月25日(土)	ジャズピアニストの小曽根真を中心に結成され15周年を迎えた、総勢15名のビッグバンド「No Name Horses」による公演です。
(仮)笑福亭鶴瓶・笑福亭ベ 瓶 二人会	8月上旬予定	笑福亭鶴瓶と笑福亭ベ瓶の師弟二人による全国ツアーの落語会です。
第25回ニューイヤ ーバンドフェスティバル2023	令和5年1月21日(土)	山口県吹奏楽連盟加盟団体が、平素の練習成果を発表するとともに、他団体の演奏を聴くことにより、演奏技術ならびに音楽表現力の向上、および団体間の親睦を図るコンサートです。
第50回市民コンサート	令和5年3月21日(火・祝)	年度内に開催された各種音楽コンクールにおいて優れた成績を収められた方や、平素から熱心に音楽活動を続けている方々を招いてのコンサートです。 市内の中高生で編成するジュニアオーケストラがコンサートの最後を締めくくります。
(仮)特撰落語会	開催時期未定	人気番組「笑点」など、テレビでおなじみの噺家による落語会を開催します。
(仮)ミニコンサート、ワーク ショップ	開催時期未定	旧軽食喫茶室のスペースを活用して、ミニコンサートやワークショップを開催します。

中原中也記念館

事業名	開催時期等	内容
第19回テーマ展示 「中也の本棚—日本文学篇」	2月16日(水) ～ 令和5年2月12日(日) ※特別企画展期間を除く	中原中也是読書家でした。中也の本棚にはどんな本が並んでいたのでしょうか？ 2016年のテーマ展示「中也の本棚—外国文学篇」に続き、今回は日本文学に焦点を当てます。 本展では、中也が読んだ本、中也による書評などを通じ、中也が受けた文学的影響や同時代の文学について紹介します。
企画展Ⅰ 「中也の住んだ町—幼少期」	4月20日(水) ～ 7月24日(日)	山口で生まれた中也是、生後半年で中国大陸の旅順へ向かい、その後6歳で山口に戻るまで、父・謙助の転任にともなって、柳樹屯、広島、金沢と移り住みました。 生まれ故郷とは違う土地で育まれた、幼い日の記憶や家族が語った思い出話は、中也の作品に大きな影響を与えたといわれています。 本展では、当時の町の様子や同時代の文学者との接点などにも触れながら、中也の幼少期について詳しく紹介します。
中原中也生誕祭「空の下の朗読会」	4月29日(金・祝)	中也の生誕日に館の前庭で開催。 詩の朗読を好んだ中也にならい、自作や愛読の詩を朗読する一般参加の朗読会とコンサートを行います。 今年は、シンガーソングライターの二階堂和美をゲストに迎えます(無料)。
屋外展示	前期 5～10月 後期 11～令和5年4月	中也ゆかりの山口線をイメージした枕木を一部使用した中庭では、今年のテーマ「天気の子」にちなんだ中也の詩を紹介します。
第7回ぼうしの詩人賞 ～あつまれ！未来の中也たち！～	募集：7月1日(金)～10月下旬	帽子をかぶった中也の肖像写真のイメージから名付けられた「ぼうしの詩人賞」。 山口市内の小・中学校に在籍する児童・生徒を対象に、「中原中也」や「詩」に触れる機会をつくるため創設しました。 12月に表彰式・朗読会を行います。

事業名	開催時期等	内容
特別企画展 「坂口安吾と中原中也—風と空と」	7月28日(木) ～ 10月2日(日)	本展は、「安吾 風の館」所蔵の坂口安吾関連資料と当館蔵の資料を通じ、坂口安吾と中原中也の交友と文学的接点を紹介する展示です。 本展では、語学学校のアテネ・フランセ、酒場ウィンゾアー、雑誌「紀元」、作家の檀一雄、牧野信一など、安吾と中也の接点となる場所・雑誌・人物を基点にして紹介します。 また、「風」や「空」など、二人の文学に関わりの深いキーワードから、作品の共通点や相違点を浮き彫りにすることで、私たちの心に響く安吾と中也の文学の魅力に迫ります。
公開講演	第1回 9月17日(土) 第2回 10月～令和5年 2月開催予定	「中原中也の会」との共催により、講演会を行います。 第1回 講師:佐々木幹郎(詩人)
企画展Ⅱ 「中也、この一篇—「一つのメルヘン」」	10月5日(水) ～ 令和5年4月16日(日)	中也の代表作をじっくりと味わうシリーズ企画です。第4回目は「一つのメルヘン」を紹介します。この作品は「文芸汎論」昭和11年11月号に発表され、のちに中也の第二詩集『在りし日の歌』に収録されました。国語の教科書にも多数掲載され、中也の代表作として人気の高い詩の一つです。本展では、この詩が書かれた背景や、詩の舞台になったといわれる故郷・山口の風景、特徴的なオノマトペの使い方など、さまざまな角度から作品を読み解きます。
中也忌	10月22日(土)	中也の命日10月22日、中也が眠る「中原家累代之墓」に職員がお参りし、募集したメッセージを墓前に供えます。 この日は入館無料となります。
山羊の日	12月10日(土)	昭和9年12月10日、中也の生前に刊行された唯一の詩集『山羊の歌』。中也にとって念願の第一詩集が出た記念すべき日を「山羊の日」と名付けてお祝いします。 『山羊の歌』に関連する特別展示を行います。

事業名	開催時期等	内容
中原中也を読む会	毎月第4金曜日	<p>教育普及事業として実施します。</p> <p>テーマに沿った中也の詩を読み込んだり、記念館の展示を学芸員の解説とともに見学するなど、気軽におしゃべりしながら、詩の世界を楽しく味わうことができます(無料)。</p>

山口情報芸術センター[YCAM]

事業名	開催時期等	内容
石若駿+YCAM 新作パフォーマンス公演 Echoes for unknown egos —発現しあう響きたち	6月4日(土)、5日(日)	ジャンルを超えた幅広い活動で注目を集める打楽器奏者の石若駿とYCAMのコラボレーションによる、新作パフォーマンスを発表する公演です。 新作のために、石若の演奏パターンをもとに自律的に演奏を行うAIと、オリジナルの打楽器を開発。石若に寄り添いながらも、ときに予想外の音を返すさまざまなエージェントと、石若本人の共演を通じて、石若の音楽性の源に光を当てるとともに、その創造を触発しながら新たなステージを目指します。
わたしもアートがわからない	vol.2 7月30日(土) vol.3 令和5年2月4日(土) ※vol.1は令和3年度に実施	芸術作品をより楽しみ、鑑賞を深めるためのイベントです。 美術教育の専門家や研究者など、さまざまな背景をもつゲストを講師に迎え、作品鑑賞の際に鑑賞者の中に生まれる「分からない」という感覚を出発点に、作品鑑賞をより楽しいものに変化させるための「コツ」を、レクチャーや作品の鑑賞会などを交えながら伝えます。
鑑賞ナビゲーターキャンプ 2022	8月6日(土)、7日(日)	対話を通して芸術作品を鑑賞する手法「対話型鑑賞」のスキルを学ぶイベントです。 対話型鑑賞は、作品の鑑賞能力以外にも観察力や思考力、コミュニケーションスキルの向上に寄与するため、近年、学校教育や医療、ビジネス現場においても注目を集めています。 このイベントでは、人間科学と臨床心理学を専門とする伊達隆洋を講師に迎え、対話型鑑賞についてレクチャーやワークショップを通じて学び、さまざまな分野との繋がりや広がりの可能性を模索していきます。
真夏の夜の星空上映会 2022	8月12日(金)～14日(日)	隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。多彩なジャンルの映画を上映することから、親子連れからお年寄りまで多くの方々が来場し、YCAMの「夏の風物詩」として、大きな賑わいを見せています。 令和4年も3日間に渡って3本の映画を上映します。

事業名	開催時期等	内容
YCAM 爆音映画祭 2022	8月26日(金)～28日(日)	<p>YCAMの音響環境を最大限に利用し、繊細な大音響で映画を鑑賞する上映イベントです。</p> <p>爆音映画祭とは、ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーを用いて映画を鑑賞するもので、映画評論家の樋口泰人が国内外で開催している上映イベントです。</p> <p>YCAMでは2013年から毎年開催しており、国内でも最高レベルの音響環境と言われるスタジオAを会場に、毎年工夫に溢れたセッティングで上映を実施。今年も樋口の監修のもと、これまでにない映画体験を創造します。</p>
In the groove(仮) #1	9月3日(土)、4日(日)	<p>国内でも最高レベルの音響環境と言われるYCAMスタジオAで、レコードやCDなどの録音物を聴取するイベントです。</p> <p>ライブ・コンサート用の大規模かつ高品質なスピーカーを用いて、フィールドレコーディングや実験音楽などのテーマに沿って選定された楽曲を再生。一般的な聴取環境では捉えづらい楽曲における繊細な構造や、音楽家が考える音の核心にじっくりと迫っていきます。</p>
Yamaguchi Seasonal	9月17日(土) ～12月25日(日)	<p>これまでYCAMで制作・発表してきたインスタレーション作品を、山口市の中心市街地や史跡で公開する展覧会です。</p> <p>坂本龍一＋YCAM InterLab《Forest Symphony》を常栄寺雪舟庭で、坂本龍一＋高谷史郎《water state 1》を山口駅前のサテライトAで展示します。</p>
YCAM オープンラボ 2022	9月23日(金・祝)	<p>今日におけるアートや研究開発、公共文化施設のあり方を捉え直すトークイベントです。</p> <p>2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に多くの作品を発表してきたYCAMは2023年で20周年を迎えます。このイベントでは、20周年を1年後に控えて、さまざまな分野で創造性と公共性について考察してきたゲストを招き、トークやディスカッションを通してこれからのYCAMの姿について構想していきます。</p>

事業名	開催時期等	内容
鎖国[Walled Garden]プロジェクト 展覧会(仮)	10月29日(土) ～令和5年1月29日(日)	YCAMが国内外のさまざまな専門家と行ってきた研究開発プロジェクト「鎖国[Walled Garden]プロジェクト」の成果を発表する展覧会です。展覧会では、アーティストでエンジニアのカイル・マクドナルドとローレン・マッカーシーによる「監視資本主義」の先にある未来をテーマとした新作パフォーマンス作品「アンラーニング・ランゲージ(仮)」を発表するほか、ドイツのベルリンを拠点に活躍するアーティストコレクティブのザ・クリティカル・エンジニアリング・ワーキング・グループによるインスタレーションを展示します。
YCAM InterLab Camp vol.4 遠隔・身体・共創(仮)	11月3日(木・祝)～5日(土)	第一線で活躍する技術者や研究者を迎え、今後のメディアアート作品の制作に使用されるツールについて紹介し、国内外の参加者とともに学ぶ集中ワークショップ・シリーズの第4弾です。今回は「遠隔・身体・共創」をテーマに開催します。 人が集まり、触れあうことの意味が根底から揺るがされている現在。哲学や福祉、エンジニアリングなどさまざまな領域の専門家を招いて、テクノロジーの発達によって変化する身体的なつながりをテーマに、レクチャーやワークショップなどを開催し、社会への応用可能性について考えます。
食と倫理リサーチ展覧会(仮)	令和5年3月11日(土) ～6月25日(日)	料理人でアーティストの岩間朝子と、インドネシアを拠点に活動するコレクティブ、バクダパン・フード・スタディ・グループによる展覧会です。「食」とそれを取り巻く倫理的側面との関係について調査研究するプロジェクト「食と倫理リサーチ」の一環として開催します。 本展では、2021年から実施してきたリサーチの内容を踏まえて、岩間とバクダパンによるインスタレーション作品を発表するとともに、ディナー形式のパフォーマンス作品やワークショップを開催します。

事業名	開催時期等	内容
sound tectonics installation	5月～ (期間中2回作品を紹介)	<p>館内の中庭でサウンドインスタレーション作品を展示する展覧会シリーズです。</p> <p>YCAMでは開館以来、サウンドアートや音楽など音に関する取り組みを展開しており、コンサートのほかにサウンドインスタレーション作品の展示も行ってきました。</p> <p>この展覧会の会場となる中庭は、ホワイエに面し、ガラスの吹き抜けが心地よい空間で、床下にはサウンドシステムが設置されています。足下からわき出してくるような聴覚体験を活用した新たなサウンドインスタレーションを2作品紹介します。</p>
やまぐちアート コミュニケータープログラム	6月～12月	<p>アートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成する長期間のプログラムです。</p> <p>このプログラムは、公募で集まった市民を対象に実施するもので、イベントの企画制作に必要な「観る力」「面白がれる力」を、期間中に行われる研修を通じて習得。最終的にはそれをもとに、開催中の展覧会「Yamaguchi Seasonal」などにまつわるツアー形式の鑑賞イベントやワークショップなどの企画や制作を参加者主体で行います。</p>
meet the artist 2022	通年	<p>有志の参加者(市民コラボレーター)が1年間にわたってクリエイティブな活動を行う長期ワークショップです。</p> <p>11年ぶり7回目となる今回のテーマは「空間」。山口市内の空き家を1年間かけて緩やかに解体し、その過程でさまざまな形態の公共空間を一時的に創出。そこで多数のイベントを開催することで、メディアとしての「公共空間」を自らの手で生み出すことの可能性や、社会における文化施設のあり方を模索します。</p>
YCAM シネマ	通年	<p>通年で、国内外の優れた映画作品を紹介する上映会です。</p> <p>今年度も、古典から最新作まで幅広い時代の様々なジャンルの映画の上映を行います。</p> <p>また上映に合わせて、監督や出演者らのトークイベントも随時開催予定です。</p>

事業名	開催時期等	内容
未来の山口の授業 at School 2022	通年	YCAM が開発した教育プログラムを山口市内の小中学校で実施するプロジェクトです。 山口市教育委員会と共同で実施する「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の一環として、山口市内の小中学校で、YCAM が開発した教育プログラムを実施するとともに、学校教員向けの研修を開催します。 情報を分かりやすく発信・伝達する能力や、プログラミング的思考などの能力を育み、これからの社会を担う人材の育成につなげていきます。
YCAM20 周年記念事業(準備)	通年	2023 年に YCAM は 20 周年を迎えますが、令和 4 年度は、令和 5 年度に予定する様々な事業に関する調査やその中間成果発表を行い、来る 20 周年に向けての準備を進めます。
委嘱作品の修復・整理・保存	通年	国内外の大学・研究機関などの芸術文化関係者との連携により、メディアアート作品の修復・整理・保存に関する研究を進めます。
委嘱作品の巡回	通年	開館以来、YCAM が制作し、発表してきたオリジナルの委嘱作品やワークショップの多くが、国内外の美術館や劇場、アートフェスティバルなどへ巡回しており、このことが現在の国内外からの高い評価へとつながっています。 YCAM のより一層の価値向上に資するため、委嘱作品の巡回展に積極的に対応します。
ビクターリサーチ評価	通年	来館者の総合的な体験デザインに向けて、展覧会やイベント来場者の鑑賞体験を調査し、外部リサーチチャーとの研究会などを行います。 評価結果のオープン化や、館内サインージ、展覧会・イベント事後 PR への活用を目指します。
プロモーション事業	通年	YCAM の多岐に渡る活動の内容や魅力を、ポータルサイトはもちろんのこと、テレビや新聞をはじめとするマスメディアやウェブマガジンなどのオンラインメディアへの広告出稿を通して発信していきます。 また、マスメディアなどでは伝えきれない多様な文脈やアウトプットを発信する手段としてガイドブックを制作し、幅広い層への情報発信を積極的に進め YCAM への理解度を高めていきます。